

SEINAN CHANTEURS

第30回記念演奏会



2007



《創立53周年》
西南シャントゥール第30回定期演奏会

SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2007

《贊助》 NHK福岡児童合唱団MIRAI

2007年12月8日(土) 14:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントゥール 共催/西南学院大学同窓会・西南学院グリークラブOB会
後援/福岡市・福岡市教育委員会・(財)福岡市文化芸術振興財団・福岡音楽団体連絡会・福岡県合唱連盟・西日本新聞社



「2006定期演奏会」より



西南シャントゥール
会長／的野 勝一

ごあいさつ

師走の何かとお忙しい折ご来場賜り厚く御礼申し上げます。

今回定期演奏会を始めて30回の節目を迎えることが出来ましたことは皆々様のご支援のたまものと深く感謝致しております。

30回記念として信長貴富氏に「ニューミュージック特集」の選曲、編曲をご依頼し、又「NHK福岡児童合唱団MIRAI」に贊助出演をお願いしましたところ両者共快くご承諾くださいましたので、記念演奏会にふさわしいステージになるよう練習を重ねて参りました。メンバーも年々増加し60名をオーバーし30年前の倍の人数となり、更に充実した合唱団になるよう努力致す所存でございます。今後共ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

尚、今年より徳永麟之助、鶴原太郎両大先輩のあとを受け会長に選任されました。微力ではございますが団のために力を尽くしたいと思います。併せてよろしくお願い申し上げます。



西南学院グリークラブOB会
会長／刀根 亨一

本日は第30回定期演奏会に多数ご来場いただきまして厚く御礼申し上げます。同時に全国OBに代わりシャントゥールの日頃のたゆまぬ研鑽に対し敬意と祝福の意を表したいと思います。

今回はNHK児童合唱団「MIRAI」の皆さんをお迎えして孫とお爺さんの共演が実現、また新しい試みとしてニューミュージックの演奏があり、バラエティーのあるステージをお楽しみ下さい。少し余談になりますが、先般のNHK学校音楽コンクール全国大会の様子をテレビで見ましたが、さすがに地域代表の演奏は素晴らしい合唱の未来も明るく感じられました。今年の高校の部課題曲はゴスペラーズの作品で、更に来年の中学の部課題曲も作詞作曲が今人気のアンジェラ・アキさんと発表された会場は学生達の大歓声に包まれました。これ等のビートのきいたポップスやバラードがこのコンクールにも新しい潮流として入って来たようです。また一方では来年の高校の部課題曲の作詞は、作家五木寛之氏に委嘱されました。氏の人生哲学から生まれる詞から察するに曲は現代日本の歌曲になるでしょう。対象的な二つの曲が来年は楽しみです。何れ大学に入ってくる中・高校生の合唱の潮流はグリークラブ復活に取り組む吾々にとって大変勉強になりました。

さて気掛かりな現役の動向ですが、来るクリスマスコンサートに男声カルテットが出演すべく目下特訓中と聞いています。このステージが、グリークラブ復活の一里塚となることをOB一同切に願ってやみません。ともあれ男声合唱の魅力にとりつかれたシャントゥールの仲間達とその後継者達に皆様の変わらぬご声援とご叱責を賜りますようお願い申し上げます。



[I 部]

yell Ah Seinan !

I. フランスの詩による男声合唱曲集 『月下の一群・1』

- 小曲
 - 輪踊り
 - 人の言うことを信じるな
 - 海よ
 - 秋の歌

訳詩 / 堀口 大学
作曲 / 南 弘明

指揮：徳永和彦
ピアノ：植村和彦

II. ア・カペラの煌めき

指揮：佐藤棟也

- **Loch Lomond**
Lady Jane Scott *Traditional Scotch* *A. Parker & R. Shaw*
 - **Londonderry Air** *Traditional Irish* *K. Kitamura*
 - **Lowlands** *English Sea Shanty* *A. Parker & R. Shaw*
 - **Love's Old Sweet Song**
G. Clifton Bingham *James Lyman Molloy* *A. Parker & R. Shaw*
 - **What Shall We Do With The Drunken Sailor**
English Sea Shanty *A. Parker & R. Shaw*



[Ⅱ部]

III. 《贊助》NHK福岡児童合唱団 MIRAI 『7つのフランスの子供の歌』

作詞/ 深尾須磨子
作・編曲/ 中田嘉直

- 前奏曲 (Prélude) 指
 - つきよ (Pierrot) ピア
 - げんきなこども (Jai du bon tabac)
 - ねえ ねえ、おじいさん (La mistén láir)
 - ひつじかいのむすめ (La plus aimable à mon gré)
 - パパ おふねも (Papa, les petits bateaux)
 - こもりうた (Fais do-do, Colas)
 - かあさん、おねがいよ (Ah, vous dirais-je, Maman)

《合同演奏》

- 翼をください
作詞/山上路夫 作曲/村井邦彦 編曲/福井利雄
 - 赤鬼と青鬼のタンゴ
作詞/加藤 真 作曲/福田和禾子 編曲/馬頭徹夫

IV. 《第30回記念・委嘱作品》

編曲/信長貴富

『時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～』

- 無縁坂 さだまさし 指揮：馬頭経明
 - 瞳を閉じて 荒井由実 ピアノ：植村和彦
 - サボテンの花 財津和夫
 - 生まれ来る子供たちのために 小田和正
 - 時代 中島みゆき

II ア・カペラの煌めき ～イギリスからの風に乗って～

今日は皆様にイギリスの香りをお届けしたく English Sea Shanty と、イギリス民謡を用意致しました。Sea Shanty とは「水夫が海での労働の中で歌う歌」の事です。

今回の曲の編曲を Robert Shaw 合唱団の指揮者である Robert Shaw と共に担当した Alice Parker によれば “これらの Shanty は海の男の物語を生き生きと実感を込めて感じさせ、海の世界の中で、まだ機械化されていなかった時代に、広い大洋を航海し、塩気を含んだ空気を吸いながら重労働に汗する勇気ある男たちの仲間入りを我々にさせてくれる” と述べています。

又、民謡も Robert Shaw 合唱団のアルバムの中から選曲した、イギリスの各地方、スコットランド、アイルランド、イングランドの代表的な民謡をお贈り致します。

“Londonderry Air” は北村協一氏の編曲によるものですが、他の曲はいずれも Robert Shaw, Alice Parker によるもので、ア・カペラ(無伴奏)で歌われます。

Robert Shaw と Alice Parker の 2 人は数多くの合唱曲の優れた編曲を多く残してくれています。

今回、これらの曲を練習していく、男声合唱の f, ff の力強さはもちろんですが、p, pp の響きが表現出来た時の感動は、ああ男声合唱をやって良かったなと思います。そして、その様な男声合唱の魅力を少しでもお伝え出来る様に、又、これらの曲を通じてイギリスの風を皆様に感じて頂ける様、心を込めて歌いたいと思います。

§ Loch Lomond

スコットランド民謡の代表的な曲であり、スコットランド民謡の特徴の一つである、スコッチ スナップを効果的に用いている。ローモンド湖での男女の別れを歌っている。

§ Londonderry Air

アイルランド民謡の代表曲の一つであり、アイルランド民謡の特徴である洗練された美しい抒情性に富んだ曲。多くの作曲家によりアレンジされ、歌詞も 100 以上つくられている。中でも、フレデリック・E・ウェザリーが作詞した “ダニーボーイ” で世界的に広まった。

§ Lowlands

錨を巻き上げる時に歌われる Capstan Shanty の代表的な曲で、ゆったりしたテンポで音楽性の優れた曲が多い。Sea Shanty の中でも一際美しい曲である。

§ Love's Old Sweet Song

イングランド民謡の代表的な曲であり、ビングハム作詞、モロイ作曲の名曲。年老いて若き日の愛を想い出し、愛の歌を口ずさんでみるという、しみじみとした優しい歌。

§ What Shall We Do With The Drunken Sailor

帆の巻き上げなどの時に歌われる Hauling Shanty の代表的な曲。English Sea Shanty の中でも最も古いものの一つで、17世紀頃から歌われていたとされる。今日は、早いテンポのコミカルで楽天的な水夫気質を出したアレンジで歌います。

どうぞお楽しみ下さい

(記・指揮者／佐藤棟也)

Loch Lomond

麗しき岸辺、麗しき坂裾のかなた、
ローモンド湖の水面に陽は降り注ぐ。
この麗しき岸辺にて、再びわが君は逢うことなし。

君は公道を辿り、われは間道を歩む。
君より先にスコットランドの地にわれ至りても、
この麗しき岸辺にて、再びわが君と逢うことなし

われらが別れたは彼方の緑深き谷、
ローモンド山の陥しき辺り。
眺むれば、紫に彩られし高地の丘の連なり、
薄闇に月のぼりて。

Londonderry Air

私が優しいリンゴの花なりせば、
曲がりくねりし枝元よりハラハラと散り、
君が柔らかき胸にひっそりと横たうものを。

或いは私が艶やかな小さなリンゴなりせば、
君は私を摘みとらむ、よそよそしく通りすがりて。
おりしも陽と影が、君が紗織りのロープをまだらに染め、
ロープと君が髪は黄金を紡ぎだす。

しかし、私が薔薇の花の間にいませば、
間にたゆたう君に口づけせんと、しな垂れかかる。
おりしも低き枝の薔薇は、女王なる君に触れんと花開く。

いな、君が愛を得られずば、われは願う、
君が白銀の足に踏まれ死に至るとしても、
せめて庭の小径の幸せなひな菊とならんことを。

Lowlands

ローランドは遙かかなただ、なあお前、
おふくろさんが手紙をよこした、
おれさまの日給は1ドル半さ、
船乗りやめて家に帰れと、
おれさまの日給は1ドル半さ

日給1ドルはフーザー連中の稼ぎ、
おれさまの日給は1ドル半さ
夜中に恋人がやってきた、
ローランドは遙かかなただ、なあお前
おれさまの日給は1ドル半さ
彼女は現れた、夢の中、
ローランドは遙かかなただ、なあお前
おれさまの日給は1ドル半さ
それで悟ったのだ、彼女は死んだと。

Love's Old Sweet Song

いとしき者逝きて、遙か追憶のかなた、
この地に霧の降り初めし時、
陽気なひとびとの中に沸き起りし夢をのがれて、
我等が胸深きところでいとしき者は歌いし、
懐かしき愛の歌を。
微かな光降る闇の中、
その歌はやわらかくわれらが夢を紡ぎし。

黄昏時の歌、灯り弱く、
揺れゆれる影はほのかに現れ、かつ消ゆ、
心疲れ、沈痛の日々、想いにふけりても、
黄昏の時、なおも聞くゆ、懐かしき愛の歌。

いまも聞く、昔の愛の歌、心の奥深く、
その歌は永久に住み続ける；
足の運びおそく、疲れきっても、
なお、一日の終わりに、
そして、命の影、うすく映りて、
終焉の時に至りても、この歌をきくことかなう。
美しき歌、数あれど、最も美しきは愛の歌。

What Shall We Do With The Drunken Sailor

どうすりやいいんだ、この酔っ払い水夫を、
朝も早よから、
ソーレ船出だ、荒海に出るぞ。
奴の酔いか醒めるまで、ロングボートに抛り込んだけ、
水溜の栓を抜いて奴に水ぶっ掛けろ
ソーレ船出だぞ！
奴は排水口に突っ込んでホースの下敷きにしつけ、
帆綱で奴の脚を縛ってぶら下げてやれ。

(訳・西南シャントゥール/鈴木 勘)

III 「7つのフランスの子供の歌」

この曲集は、7曲のフランス民謡の旋律に、作曲家中田喜直さんがピアノ伴奏と前奏、間奏、後奏をつけてひとつの組曲にしたもので。どこかで一度は耳にしたことがあるお馴染みのメロディーが、美しいピアノ伴奏と豊かなハーモニーで綴られていきます。絵本をめくるように其々の曲を楽しんでいただけたらと思います。



NHK福岡児童合唱団 MIRAI

私達「NHK福岡児童合唱団MIRAI」は平成17年、NHK福岡放送局の開局75周年を記念して発足しました。今年で3年目を迎える員数も130名の大家族になりました。NHKの番組「九州の歌」や、どんたく、合唱祭などに出演しています。

昨年の「Over the rainbow concert」、そしてまた今年の夏、阿蘇で行われた合唱講習会で松下耕先生から直々のご指導を頂き、改めて合唱の楽しさ、素晴らしさを実感しました。4月には第2回定期演奏会を大盛況のうちに終え、シニアクラスは初めてコンクールに挑戦するなど少しずつではありますがあなたが成長している段階です。

福岡の皆さんに愛され、親しまれる合唱団を目指して毎週土曜日NHK福岡放送局で練習をしています。今日は小学2年生から5年生までのジュニアクラスの参加(出演)です。西南シャントゥールのおじ様方と一緒に歌わせていただけるのを楽しみにしています。



7つのフランスの子供の歌

深尾 須磨子／作詞

1. つきよ

となりのおばさん こんばんは
きれいな きれいな つきよです
おばさん ごきげん いかがです
いっしょに うたを うたいましょう

となりのぼうや ありがとう
きれいな きれいな つきよです
わたしは ひとり まどのそば
あかりを けして みています

2. げんきなこども

げんきな げんきな
げんきな こどもよ
ほんとに ほんとに
げんきなこども
いちどもびょうきをしない
かぜのなかのこども
びょんびょん とんだり
どんどん かけたり
ほんとに ほんとに
げんきなこども

げんきな げんきな
げんきな こどもよ
ほんとに ほんとに
げんきなこども
みんなとなかよく あそぶ
うたのすきなこども
あんなに あんなに
にこにこして
ほんとに ほんとに
げんきなこども

3. ねえ ねえ、おじいさん

おじいさん おじいさん
あれ あのきょくを
はやく はやく
ねえ あのきょくを
じょうずなふえで
ランラ ララ ララと
さあ さあ はやく
ねえ ねえ おじいさん

おじいさん おじいさん
あれ あのうたを
はやく はやく
ねえ あのうたを
きれいなふえで
ランラ ララ ララと
さあ さあ はやく
ねえ ねえ おじいさん

6. こもりうた

いもうとよ
おかしのゆめを みてねむれ
いもうとよ
しゃばんだまや にんぎょうや
ことりのゆめを みてねむれ
いもうとよ

おとうとよ
おちちのゆめを みてねむれ
おとうとよ
でんでんたいこや きしゃばっぽや
おもちゃのゆめを みてねむれ
おとうとよ

7. かあさん おねがいよ

わたしはいいます かあさんに
わたしはいいます どうさんに
そんなにこごとをいわないで
そんなにりくつをいわないで
わたしのいうこきいてよね
わたしのおねがいきいてよね

うるさいこごとや たいくつな
おとののりくつは だいきらい
かあさん こごとをいわないで
どうさん りくつをいわないで
やさしくはなしてほしいのよ
こごとやりくつは いりません

あまいポンポン チョコレート
わたしはそれがだいすきよ

5. パパ おふねも

パパ
おふねも あしであるくのね?
そう そう
あしがなければ あるけません

パパ
おうまも あしではしるのね?
そう そう
あしがなければ はしれません

IV 「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」

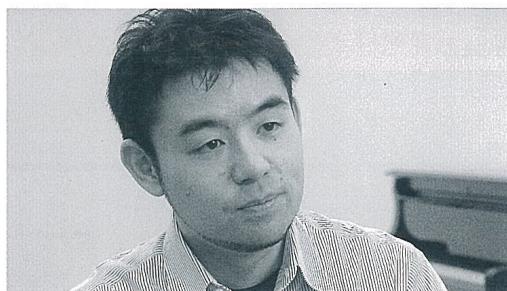
このたびは第30回定期演奏会のご開催おめでとうございます。この節目の演奏会に編曲者として関わらせていただけたことを大変光栄に思っております。

今回、西南シャントゥールの皆様から頂いたご提案は、「団塊の世代」が当時楽しんだ「ニューミュージック」を集めてワンステージを組む、というものでした。私はいわゆる“団塊ジュニア”の世代に当たるのですが、年の離れた兄の影響で幼い頃から「ニューミュージック」が生活の中に流れていましたので、合唱団からのご提案を嬉しくお引き受けし、楽しみながら編曲を進めることが出来ました。

広辞苑によると、「ニューミュージック」は「日本で、1970年代から盛んになった、シンガーソングライターによる新しいポピュラー音楽の総称。」と説明されています。フォークとも歌謡曲とも異なる音楽というニュアンスがあるわけですが、その定義はあいまいです。今回選曲をするにあたって、「ニューミュージック」の範囲をどこに限定するか、ということが難しかったのですが、1970年代に発表された曲の中から、フォークや歌謡曲とは一線を画す（と私が判断したもの）をピックアップしていきました。単にノスタルジーを呼び起こすだけでなく、今の時代にも新鮮に響く旋律と歌詞を持った楽曲を選んだつもりです。曲をご存じの方にも、初めて聞くという方にも、楽しんでいただけたらと願って編曲いたしました。現在減少傾向にある若い世代の合唱人たちを刺激するものになり得たら、という思いもあります。

最後に、このたび編曲の機会をお与えいただいた西南シャントゥールの皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

信 長 貴 富



信長貴富 *Takatomi NOBUNAGA*

1994年上智大学文学部教育学科卒業。

主な受賞歴：1994・95・99年朝日作曲賞、1998年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位、2000年現音作曲新人賞入選、2001年日本音楽コンクール作曲部門（室内楽曲）第2位など。

主な作品に「わが高校時代の犯罪～寺山修司の9つの俳句による歌曲集」、「詩人の肖像」（歌曲集）、「バラッド」（室内楽曲）、「新しい歌」（合唱+ピアノ）、「モニュメント」（女声合唱）、「起点」（男声合唱+ピアノ+パークッション）、「ひかりのうたげ」（童声+邦楽合奏）などがある。

西南シャントゥール第30回となる節目の定期演奏会ご開催おめでとうございます。

故郷を離れて35年の歳月が過ぎましたが、福岡人の気質は相変わらず抜けません。

2006年5月「第1回ホームカミングデー」にお招き戴きました際に、高校の赤煉瓦講堂が西南学院大学記念館となっており、メモリアルな場所として保存されているのを見た時には懐郷の念を覚えました。そして無性に自分が子供の頃過ごした名島の海岸あたりが思い出され、思わずタクシーに飛び乗ってしまいました。海岸は埋め立てられていて子供の頃に見た風景とは随分違っていましたが、“帆柱石”はそのまま保存されていました。少しでも、いやたったひとつでも変わらないものがあると嬉しいものです。

「西南学院グリークラブ」および「西南シャントゥール」は西南学院を象徴するものです。人それぞれ輝いている思い出は違うと思いますが、私は「西南学院グリークラブ」がチャペルに響かせる清々しい声を、未来においても聴きたいと思っています。

財津和夫



財津和夫 *Kazuo ZAITSU*

1948年2月19日生まれ、福岡県出身。

1972年、東芝レコードより「魔法の黄色い靴」でデビュー。

3作目の「心の旅」(1973年)がオリコン・チャート第1位を獲得後、「青春の影」(1974年)、「虹とスニーカーの頃」(1979年)等のヒット作を発表。

コンサート1000回を記念し、よみうりランドを1日貸し切って「TULIP LAND」と題した「1000th LIVE」(1982年)、芦ノ湖畔にシンボル・パゴタの塔を建てての野外コンサート「8.11パゴタ」(1984年)など、チューリップは現在のJ-POPアーティストの先駆けとなる大イベントを数多くこなす。

チューリップはアルバム34枚、シングル34枚を発表、1244本のコンサートを行い、1989年、18年間の歴史を閉じる。(尚、チューリップは1997年、2000年、2002年、2005年に期間限定で再結成し、全国ツアーを行なっている。)

チューリップの活動と並行して1978年からソロ活動をスタート。「WAKE UP」(1980年)はセイコーのCFソングとなり大ヒット、1993年には「サボテンの花へひとつ屋根の下より～」がフジテレビ系ドラマの主題歌となる。

作曲家として楽曲提供、アーティスト・プロデュース、ミュージカル音楽制作、俳優などとしても幅広く活躍している。

団塊の世代と共に「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」

話題が多い“2007年”ですが西南シャントゥールにとっては30回目の定期演奏会を迎えるました。創立53周年でありますとメンバーの転勤や業務の都合で演奏会が開催出来ない時期もありました。

そして今やメンバーも“団塊の世代”が中心になって参りました。2007年の話題は何かに付けて“団塊の世代”がテーマになっておりますが、今年は“団塊の世代”的お客様といっしょに「あの頃の懐かしいフォークソングを楽しみたい」とマネジャーの窪田君が提案、そして又高校、大学と西南グリーで活躍、大学では学生指揮者としても活躍し、卒業後は“KBC九州朝日放送”で多くの若者の音楽を育て業界に送り出し、シャントウールでは陰で支えてくれた岸川君が残念ながら昨年惜しまれつつ故人となってしまいました。その追悼もかねて演奏会の最後のステージに「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」を歌います。特に「時代」は私にとっては思い出深い“歌”であります。

選曲と編曲はオシャレでハイセンスな作・編曲家として人気の信長貴富氏にお願いしましたところ、快く引き受けていただき素晴らしい6曲が完成しました。“団塊の世代のお客さま”と“団塊の世代のメンバー”と一緒に楽しめるようなステージを目指して歌います。ご一緒にお楽しみいただければ幸いです。

“無縁坂”

東京は台東区池之端にある無縁寺につながる坂が“無縁坂”と呼ばれています。「さだ・まさし」がまだグレープという2人のグループの頃に作詞・作曲した作品です。

「母を想い」 「母を偲び」 「母を懐かしむ」 心暖まる「さだ・まさし」の優しさ、そして情感あふれる代表作の一つでしょう。

“瞳を閉じて”

「松任谷由美」がまだデビュー間もない「荒井由美」として活動していた頃の作品、長崎県五島高校の分校であった奈留島分校の生徒であった「藤原あつみ」さんがラジオの深夜放送を聴いていて、分校であった自分の高校の校歌を書いて下さい。と当時の「荒井由美」に頼んで出来たというエピソードの作品。

今では五島高校の第2校歌になっているそうです、絵ハガキを見ているような故郷を想う素朴な気持ちは出ています

“サボテンの花”

フジテレビ系の番組“ひとつ屋根の下”的テーマ曲となった有名な作品です。作詞、作曲の「財津和夫」さんは西南学院大学のフォーケンソング同好会の出身として、また地元から生まれたグループ“チューリップ”のリーダーとして親しみのある作品です。さて若いころの失恋の想い出は?

“生きれ来るこども達の為に”

「小田和正」のオフコース時代の作品。小田自身「この曲はオフコースのテーマ、小田自身のテーマ」だと言っています。

当時から小田は日本の公害問題、環境問題を気にしており日本はどうなるのか、これから生まれ来る子供たちのために何をすべきか、現代への警鐘でもあり、また反省をテーマとして書かれています。

“時代”

時代
1975年ヤマハが開催していた「世界歌謡祭」でグラントプリを受賞、以来「中島みゆき」は日本を代表する女性シンガーソングライターの草分けとして、その特異なキャラクター、そして強烈な個性、独特的失恋に対する想いは他人に類をみない作家として、その作品は「みゆき節」とも言われ多くの「みゆきファン」に支持されています。「時代」は中島の作品の中でもっとも代表的なものと言えます。

(記・指揮者／馬頭絳明)

母がまだ若い頃
この坂を登る度
いつも済もため息をついた
ため息つけば
それで済む
後ろだけは見ちゃだめ
笑つてた白い手は
とてもやわらかだつた
人は時々 いかに
そういうことつて
そう確かにあると
あなたを見て
そう確かに
忍ぶ 不忍 無縫坂
かみしめる様な
ささやかな 僕の母の人生
いつから僕よりも 母は小さくなつた
母はすぐてを 暇に刻んで
流して来たんだろう
悲しさや苦しさは きつとあつたはずなのに
運がいいとか悪いか
人は時々 口にするけど
めぐる季節の中
めぐるながら 過ぎてゆく
忍ぶ 不忍 無縫坂
かみしめる様な
ささやかな 僕の母の人生

ド僕にかき出でゆこう
なぜか涙がこぼれた時
君が育てたサボテンは
小さな花をつくった
春はもうすぐそこまで
恋は今終わつた

この長い冬が 終わるまでに
何かをみつけて 生きよう
何かを信じて 生きてゆこう
この冬が 終わるまで

この長い冬が 終わるまでに
何かをみつけて 生きよう
何かを信じて 生きてゆこう
この冬が 終わるまで

ひとりまたひとり
真白な帆をあげて
旗立つ船に乗り
力の続く限り
ふたりでも漕いでゆく
その力を与え給え
勇気を与え給え

*録体は作曲に際し考

ふるさとへ
乗れる人は 向かう最終に
やさしい 急ぎなさいの 駅長が
街なかに 叫ぶ
いまドアが閉まりかけで
灯りともる 窓の中では帰りびとが笑う
走りだせば 窓に合うだらう
かぎ荷物をふり捨てて
街に街に挨拶を
振り向けば ドアは閉まる
いまドアが閉まりかけで
灯りともる 窓の中では帰りびとが笑う
ふるさとは 窓ガラスの果て
そして 手のひらに残るのは
白い煙と乗車券
白い煙と乗車券
涙の数ため息の数 滴つてゆく空色のキップ
ネオンライトでは燃やせない
ふると行きの乗車券
ふると行きの乗車券

生まれ来る子供たちのために
多くの過ちを僕もしたように
愛するこの国も戻れない、もう戻れない
あのひとがいたために許してもらつたように
僕はこの国の明日をまた想う
ひろい空よ僕らは今どこにいる
頼るもの何もないあの頃へ帰りたい
ひろい空よ僕らは今どこにいる
何を語ろう
一生まれ来る子供たちのために何を語ろう
君よ愛するひとを守り給え
大き手を抜けて子供たちを抱き給え

いつか故郷に出会い
たとえ今夜は倒れても
きっと信じてアドを出る
たゞえ今日は果ててしまなく
冷たい雨が降っていても
めぐるめぐるよ時代はめぐる
別れと出会いを繰り返し
今日は倒れた旅人たちも
生まれ変わつて歩き出すよ
生まれ変わつて歩き出すよ



指揮／馬頭経明 *Batoh Noriaki*

1959年、西南学院大学商学部卒業。西南学院高校、大学を通してグリークラブに在籍、西南シャントゥール設立時 高校3年で同級生4人と共に合唱コンクールに出場。大学在学中は学生指揮者として活動。1996年～2003年オホーツク国際音楽セミナーにて指揮を高石 治、松岡 究、小林研一郎の各師に師事。また和声を故 竹内 初師に師事。ヤマハ(株)を経て、現在、福岡音楽文化協会に勤務。



指揮／徳永和彦 *Tokunaga Kazuhiko*

福岡高等学校在学中合唱部に所属、指揮を担当。1961年西南学院大学商学部卒業。在学中、西南学院グリークラブ創立40周年記念演奏会にて学生指揮を担当。1997年、西南シャントゥール委嘱作品・多田武彦作曲：男声合唱曲「三崎のうた・第二」を初演。1996年より西南シャントゥール指揮者。



指揮／佐藤棟也 *Satoh Tohya*

福岡高等学校在学中合唱部に所属。1970年西南学院大学文学部フランス語専攻卒業。在学中、西南学院グリークラブ創立50周年記念演奏会、東京・大阪記念演奏会にて学生指揮担当。創立50周年記念委嘱作品 清水脩作曲「木下夕爾の三つの歌」を初演。卒業後、石丸寛氏の東京フィルハーモニックソサイアティ他各合唱団で合唱活動。現在、西南シャントゥール副指揮者。



ピアノ／植村和彥 *Uemura Kazuhiko*

福岡教育大学教育学部中等教育教員養成課程音楽専攻卒業。福岡教育大学大学院教育学研究科音楽教育専攻演奏学講座修了。第43回北九州芸術祭にて伴奏賞受賞。現在、福岡を中心として主に声楽や器楽とのアンサンブル、伴奏の分野で活動中。片山由紀、倉真由紀子、福田ひろみ、福井伸光の各氏に師事。



指揮／大庭 尋子 *Ooba Hiroko*

福岡高校、福岡教育大学、東京芸術大学声楽科卒業。声楽を北里由布子、福嶋敬晃、中村浩子、坂本博士各氏に師事。芸大卒業後、声楽家坂本博士の事務所に所属し、クラシックからカンツォーネ、ミュージカル、子どもの歌まで幅広い活動をする。東京都の春休み音乐会フェスティバルにも6年連続で出演。'90年にはウィーンで行われた日韓親善交流コンサートにソリストとして参加。好評を博す。'93年に帰福、西南学院グリークラブや混声合唱団トニカの演奏会にソリストとして参加する等、意欲的に演奏活動を行う。'96、'97と九州サマーフェスティバルに出演。'99アクロス福岡5周年記念合唱団の指導にあたる。現在NHK文化サークル講師、福岡雙葉高校非常勤講師。NHK福岡児童合唱団MIRAI他、女声合唱団の指導者としても活躍中。福岡県合唱連盟福岡支部理事。



ピアノ／武末 陽子 *Takesue Youko*

福岡女学院高等学校音楽科卒業、桐朋学園大学音楽学部卒業。第42回西日本出身新人紹介演奏会にて審査員奨励賞受賞。これまでに高島真子、安井耕一、奈良場恒美の各氏に師事。現在福岡音楽学院非常勤講師、福岡室内楽協会会員。また、NHK福岡児童合唱団MIRAI、フラウエンコール南の伴奏者として活躍中。

西南シャントゥールは1954年(昭和29年)4月、西南学院グリークラブ54期のOBらが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者ののみのメンバーで構成されており、西南OBの結束の堅さを継続している。シャントゥール(Chanteurs)という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“The Sea Chanters”とフランスの男声合唱団名“Companion de la Chanson”を参考にし、結局フランス風に洒落て西南シャントゥール(Seinan Chanteurs)と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。現在では、専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けています。現在全国的にみても、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目されている。

- ・多田武彦作曲：男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」・「三崎のうた・第二」
- ・吉田悠作編曲：日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」・男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」
- ・宇野正寛編曲：男声合唱曲「日本の歌メドレー」
- ・大島ミチル作詞作曲：男声合唱とピアノによる「生命の誕生」(創立50周年記念)

男声合唱編曲「悲しい歌は嫌いですか」(NHK金曜時代劇「御宿かわせみ」主題歌)
本年は、今、人気の合唱作曲家 信長貴富 氏に編曲をお願いし、「時代～ニューミュージックと呼ばれた歌たち～」を初演する運びとなった。

(社)全日本合唱連盟・福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

《1年間の演奏活動》

2006. 12. 2 2006西南シャントゥール定期演奏会

12.17 SEINAN CHRISTMAS LIVE IN TENJIN

12.21 西南学院大学チャペルサービス

12.23 (福岡女学院創立120周年記念) クリスマスコンサート"メサイア" (有志)

アクロス福岡シンフォニーホール

ソラリアプラザ

西南学院大学チャペル

2007. 2.11 日本国會議福岡県民の集い

2.25 武雄・北方町演奏会「出会いと夢コンサート」

3. 4 「筑紫讃歌」コンサート(有志)

3.20 西南学院大学卒業式サービス

4. 2 西南学院大学入学式サービス

4. 4 西南学院校歌指導サービス

5. 9 西南学院大学チャペルサービス

6.10 福岡県合唱連盟福岡支部第62回合唱祭

6.22 日本キリスト教社会福祉学会大会出演

12. 8 西南シャントゥール第30回定期演奏会

アクロス福岡シンフォニーホール

電気ホール

北方町公民館文化ホール

アクロス福岡シンフォニーホール

西南学院大学体育館

西南学院大学体育館

西南学院大学

西南学院大学チャペル

南市民センター文化ホール

西南学院クロスプラザ

アクロス福岡シンフォニーホール



武雄・北方町演奏会「出会いと夢コンサート」

出 演 者

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
乙藤 成美	刀根 亨一	本永 哲也	下川 勝史
宮地 基次	的野 恒一	中辻 浩一	木道 昇
高木 正志	福井 勲	和田 正義	田中 義信
中尾 武史	大石 宏	鈴木 勸	鶴 喜廣
日高 良公	馬頭 経明	粟野 寿泰	松枝 保匡
飛松 智明	野辺 和馬	石川 和義	平田大三郎
本山 和文	波多江 忠	古賀 正義	八尋 一雄
山元 一憲	徳永 和彦	篠崎 詔二	阪井 俊文
倉地 進	黒江 量二	森 博彦	蓮尾 勝右
坂部 雅夫	石橋 一幸	松尾 淳郎	佐藤 忠芳
大司 真	徳永 武雄	佐藤 棟也	毛利 正明
山口 聰	福田 治	里中 健	波多野勝彦
* 渡辺 秀樹	石松 茂	小西 真二	夏秋 毅昭
* 日下部一徳	高川 弘幸	中嶋 恒生	武藤 新
* 藤島 整	窪田 敏博	高嶋 裕二	八尋 憲二
	眞鍋 敬介	* 川原 好治	角 正信
	首藤 純		中垣 登
			谷口 俊治
			○ 渡部 光晴
			宮地 純
			*○ 福田 誠司

* 第1ステージ出演
○ 第4ステージ出演

運営委員

顧問	鶴原 太郎	プロデューサー	馬頭 経明
会長	的野 恒一	指揮者	馬頭 経明
副会长	木道 昇	指揮者	徳永 和彦
副会长・総務	鶴喜廣	副指揮者	佐藤 棟也
マネジャー	窪田 敏博	パートリーダー	倉地 進(T1)
サブマネジャー (インスペクター)	大司 真	パートリーダー	高川 弘幸(T2)
パートマネジャー	日高 良公(T1)	パートリーダー	中嶋 恒生(B1)
パートマネジャー	黒江 量二(T2)	パートリーダー	毛利 正明(B2)
パートマネジャー	鈴木 勸(B1)	ライブラリアン	山元 一憲
パートマネジャー	中垣 登(B2)		
会計	小西 真二		
監事	石川 和義		
監事	古賀 正義		
特命委員(ホームページ担当)	福田 治		
客員			
ピアニスト 植村 和彦			
ヴォイストレーナー 久世 安俊			

きどう動物病院
KIDOU SMALL ANIMAL HOSPITAL

獣医師 木道 寛・木道浩子

福岡市城南区田島5-4-18
TEL 092-862-1222



welcome
不動産のことなら何でもお気軽に

中垣不動産

〒818-0121 太宰府市青山3-27-2
☎ 092-918-6487
<http://www.nakagaki-fudousan.com>



TEL. 092-725-7176

〒810-0062 福岡市中央区荒戸1丁目2-6 コーポ大濠1F
営業時間 17:30~24:00 O.S 23:15
定休日 日曜日 但し月曜が祝日の場合 日曜は営業致します

記念品 グッズは経験豊富な
ヒロカネのスタッフがあ手伝いします!

旗・カップ・トロフィー・植・記念メダル・賞状・ペナント・バッジなど…

□ご注文・お問い合わせ先

日本 社 福岡市博多区奈良屋町3-1 092-273-1500
□北九州支店 北九州市小倉北区浅野2-9-22 093-533-4488
□久留米支店 久留米市賀防野町2350-2 0942-39-0111

株式会社ヒロカネ



健康で豊かな生活づくりに貢献する

日清製粉株式会社

業務用小麦粉、プレミックス、ふすま・胚芽などの小麦連産品、ライ麦粉などの原料素材を供給。
業界のリーディングカンパニーとして新しい食文化の創造や新業態開発にも挑戦しています。

日清製粉株式会社 福岡営業部
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-19-5 TEL 092-472-4871

西南シャントワール第30回定期演奏会
開催おめでとうございます



久留米
大砲ラーメン
天神今泉店

西鉄福岡駅 イムズ 大丸
警固神社 ピックカメラ
国体道路 久留米大砲ラーメン 天神今泉店 渡辺通り

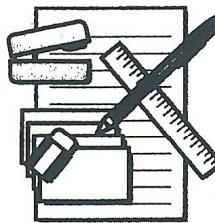
福岡市中央区今泉1丁目
国体道路沿 警固神社前
TEL092-738-3277



鳥越製粉株式会社

〒812-0014 福岡市博多区比恵町5番1号
TEL 092-477-7120
FAX 092-477-7122

文房具のことならお任せ下さい。



★★★★★ 選べる楽しさ3万点★★★★★

株式会社ノア・カワバタ

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL. (092) 481-2611 FAX. (092) 481-2610

NDKサンプラザ店
福岡朝日ビルサンプラザB1
☎092-431-6021

SOHOデイツ店
博多駅新幹線ビル1F
☎092-411-5381

SOHO姪浜店
ウエストコート姪浜内
☎092-884-2000

北九州営業所
小倉駅小倉ひまわり通1F
☎093-512-6055

〈取扱商品〉事務用品・オフィス家具・オフィスレイアウト・各種事務OA機器・ギフト

おいしい笑顔の食卓を応援します



日本食品株式会社

古賀市青柳3272番地6号 ☎092-942-6100



株式会社 ディックスクロキ

JASDAQ (証券コード 8884)

■本社 〒810-0011 福岡市中央区高砂2丁目11-11
ヘルスビジネスビル
TEL 092-522-3091 FAX 092-522-3094
<http://www.dix-kuroki.co.jp>

宅地建物取引業 福岡県知事(1)第15963号



株式会社 浅野工務店

快適な環境と暮らしを追求した空間づくり



〒814-0164 福岡市早良区賀茂1丁目42番2号

TEL 862-0224 FAX 862-0269

代表取締役 浅野 忠雄

Email info@asanocc.com



MORIMITSU

株式会社森光商店

〒841-8611 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-7
PHONE. 0942-85-1125(代) FAX. 0942-82-9780



株式会社 山本文房堂

●本店／中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751)4342

●アートスクール／中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751)4342

●すみちか店／中央区天神2丁目住生福岡ビル地階 〒810-0001 ☎092(721)0163

*通信販売を承ります。お気軽におたずねください。

URL <http://www.yamabumi.com> E-mail yamabumi@anet.ne.jp

予告

西南シャントウール第31回定期演奏会

2008年12月6日(土) 14:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

Amazing Grace

Amazing grace ! How sweet the sound,
That sav'd a wretch like me!
I once was lost but now am found,
Was blind, but now I see.

'Twas grace that taught my heart to fear.
And grace my fears relieved;
How precious did that grace appear,
The hour I first believe!

Thro' many dangers, toils and snares,
I have already come;
'Tis grace has brought me safe thus far,
And grace will lead me home.

The Lord has promised good to me,
His word my hope secures;
He will my Shield and Portion be,
As long as life endures.

驚くほどの恵み、なんと優しい響き、
私のようなつまらぬ者さえ救い給もうた！
私はかつて迷いしも今や見出され、
見えざりし目も今や見える。

わが心に恐れを教えしは彼の恵み。
そしてその恐れを解き放ちしも彼の恵み。
素晴らしいかな彼の恵みの出現よ、
始めて私が信じたとき。

多くの危険、困難、誘惑を通り抜け、
私はここに辿り着いた；
私を無事にこんなところまで、導きしは彼の恵み、
そして天国までも導き給もう。

主は私に良きものを約束された、
彼の御言葉は確かに私の希望となり；
主は私の盾、私の運命とならむ、
命統く限り。

(訳・鈴木 勲)



Since 1954 To 2007